

天草剣道連盟発足について (牛深市剣道連盟の歴史を振り返って)

天草剣道連盟 副会長 福本康博



平成十八年三月二十七日、二市八町が合併して天草市が誕生した。これを機に、天草郡市剣道連盟、牛深市剣道連盟を解散し天草が一体となり新たに天草剣道連盟として発足することになった。天草の剣道の普及発展の基となり、天草支部(旧天草郡、上天草市、苓北町)と本渡支部(旧本渡市、牛深支部(旧牛深市)の三地区に分け、その支部長の互選によって会長を選任し、一致団結して連盟の運営に当たることになりました。

その初代会長に花里昌直先生(天草支部)が就任され、副会長に木下文男先生(本渡支部)と同じく副会長の重責を担うことになりました。牛深支部の福本康博でございます。花里会長の下、ご指導を仰ぎながら連盟の発展に木下先生と協力しながら頑張る所存です。

ここで牛深市剣道連盟の歩みについて述べてみたいと思いま

す。

昭和二十七年頃、池崎孝心、(故)榎山康人、(故)椎葉小太郎の先生方が剣道の試合でもやろうと意見がまとまり、榎山先生が牛深中学校の教室を借用して稽古を始めたそうです。

昭和二十八年四月、久玉町より(故)西村(元町長)、(故)江良春男、牛深町より池崎孝心、(故)榎山康人、(故)椎葉小太郎、(故)八田一、(故)亀山昌栄の各剣道愛好者が集まり試合を行いました。試合終了後、名称を牛深剣友会とし、初代会長に八田一、書記に池崎孝心で剣道連盟を発足させました。

昭和三十年頃には鬼塚義行先生も参加され、会員も徐々に増えていきました。牛深剣友会の素晴らしさは、今まで一度も会員同士の喧嘩がなく、道場外では初心者も高段者もなく年長者を重んじ、会長を中心に運営がなされてきたことです。当時、牛深中学校の教室、牛深町岡東地区の山王神社の板の間、牛深警察道場等、練習場を求め稽古に励み、(故)一川格治先生には何度も来牛され、熱心にご指導

をいただき、懇親会では夜を徹し剣道談義に盛り上がったそうです。

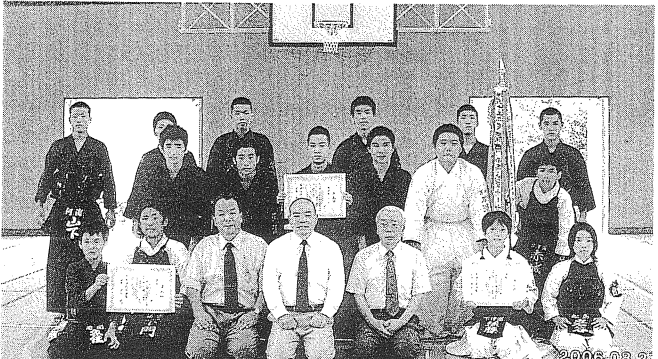
その後、昭和三十五年頃、剣道を通して文化交流を図りたいとの趣旨で阿久根市との親善剣道大会が始まり、昭和三十七年か三十八年頃、長島町も加わりその後、三地区剣道大会となり現在まで続いています(池崎孝心先生談)。

昭和五十三年には、連盟会員が指導員となり牛深少年剣道クラブを立ち上げ、その後次々に市内に茂申少年剣道クラブ、久玉少年剣道クラブ、天附少年剣道クラブ、魚貫少年剣道クラブ、練成館若竹会(牛深警察署)等を発足させました。また、熊本県民体育大会にも参加し、過去には一位、二位、三位と好成績を収めることもできました。これも偏に、牛深市内中学校、牛深高等学校、牛深警察署の歴史代剣道指導の先生方が連盟の一員として共に稽古に励み、汗を流した結果だと思えます。

連盟の歩みの中で、初代(故)八田会長、三代鬼塚会長は特に連盟の指導力を発揮され、その

南高島原 天草本渡 三角 三地区親善剣道大会

8月27日(日)に三角B&G体育館で行われました。小学生の部、中学生の部、高校生の部、一般の部と全員の活躍で見事総合優勝を勝ち取りました。参加者の皆様、暑い中大変ご苦労様でした。



手腕は特筆されるものだと思います。また剣道指導においては、恩師でもある榎山会長が第一人者であり、先生のお陰で剣道が好きになり、剣道が続けてこられたという教え子が多いのです。それから池崎孝心先生は、牛深剣友会発足当時より指導一筋、会員一人一人に稽古をつけて頂き、八十歳の現在でも牛深少年剣道クラブに週二回の指導をされ本当に感謝いたしております。

連盟が今日まで発展したなかで、忘れてはならない(故)幾野孝義事務局長がおられます。歴

代会長を陰で支えられ、言葉では言いつくせないご恩があります。懇親会といえ、必ず幾野家でした。家族の皆さんに大変迷惑をかけていたのに、当時は何も考えず飲み会大好きで、夜遅くまで剣道談義に大いに花を咲かせたものでした。今日では、会員数も三十五名近くになり、教士七段、錬士六段の高段者を輩出することができました。

歩み振り返れば思い出はつきませんが、昔から牛深は、「肥後でん薩摩でんなかっさな、牛深は牛深さ」という気風があ

ります。その牛深らしさは失うことなく、天草は一つの気持ちで今後微力ながら天草剣道連盟発展に尽力できたらと思う次第です。

現在までの旧牛深剣道連盟歴代会長名を記します。

初代 八田 一(故人)
二代 榎山 康人(故人)
三代 鬼塚 義行
四代 江良 春男(故人)
五代 福本 康博
六代 畑中 秀一
七代 福本 康博